

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	学童ホール支援グループ
-----	-------------

取組の名称	子どもを見守るみんなの居場所作り事業		
実施場所	たまっ子学童ホール		
対象地域	川崎市多摩区		
対象地域の特色・課題	近隣に小学校が多くあり、子育て世代が多い地域である。新しく保育園もでき、働く母親の多いことがわかる。シニア世代も多いが、交流の場は少ない。		
取組の趣旨・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○共働き家庭やひとり親家庭の親子を支援する。 ○地域の人も気軽に立ち寄れる、みんなの居場所を作る。 ○多世代が交流し、みんなで子どもを見守る。 		
実施内容・実施スケジュール	<p>①放課後児童健全育成事業 学校がある日は放課後から、学校の無い日は早朝から、保育にあたった。通年で、中学生以上のボランティアを受け入れ、子どもたちの保育のお手伝いをしてもらった。</p> <p>②たまっ子どうぶつしょうぎ大会 (4/24、5/8、6/26、8/11、9/4、10/23、12/25、1/29、2/23) たまっ子まつり (7/10、11/27、3/12)</p> <p>③こども食堂 (4/15、5/20、6/17、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17)</p>		
参加者の年代	<ul style="list-style-type: none"> ①小・中学生 ②幼児～大人 ③乳児～大人 	<p style="text-align: center;">定員 (1回あたり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①25名 ②なし ③40名

<p>実施頻度</p>	<p>①月曜～土曜日 ②しょうぎ大会（年9） たまっ子まつり（年3） ③月1回</p>	<p>活動日数 （年間）</p>	<p>281日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>①2～6名 ②しょうぎ大会 2～4名 たまっ子まつり 5～10名 ③2～3名＋ほかほか御飯の会、菅ごはんの会</p>		
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>ほかほか御飯の会・11月より菅ごはんの会 こども食堂は、事前にこちらで予約を受け付けた後、買い出し・準備・調理・片付けをお任せしている。 当日は15時半から台所と二階を貸し出す。</p>		
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>①新型コロナウイルスは子どもの感染が拡大し、手洗いがい・トイレに関して、ひとり使用ごとにアルコール消毒をした。黙食を徹底し、学童時に陽性者が出ても他に感染者を出さず、休室せずに済んだ。 年間を通して広くボランティアを募っていることで、小学校教諭や保育士を目指す学生も受け入れ、学童児たちにも良い経験となっている。 精神保健福祉士が月2～3回保育に入ることで、児童の問題行動やスタッフのメンタル面をサポートしている。 ②町内会の掲示板や、近隣の保育園・幼稚園に案内を貼らせてもらったり、学童児や保護者が知り合いにチラシを渡したりすることで、広く宣伝をしている。 たまっ子まつりは、入り口での手の消毒と検温に協力してもらい、人数制限と室内消毒をしながら開催した。学童児は店番を手伝い、地域の人との交流も楽しんだ。 どうぶつしょうぎ大会は、たまっ子まつり開催月以外の全ての月に開催ができた。地域の人や学校のお友達など、誰でも気軽に参加できることで好評を得ている。 ③こども食堂は、シニア中心の他団体主催のため、感染予防で中止にせざるを得ない月も多く残念ではあった。11月より別の団体との共催となり、以降は毎月第三金曜日に開催できた。</p>		